

保護者様

北九州市立花房小学校
校長 和田 宜之

令和5年度 2学期 学校評価のアンケート結果

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。さて、本校の2学期の教育活動についてアンケートのご回答をいただき、ありがとうございました。今回いただきました結果を基に、今後も家庭と学校とが協力し合い、来学期以降の教育のさらなる充実に、役立てていきたいと考えています。よろしく、お願いいたします。

4（よくあてはまる） 3（ややあてはまる） 2（あまりあてはまらない） 1（まったくあてはまらない）

※（ ）内の数字は、1学期末に実施したポイント数です。

1 学校は、通信等によって教育活動の様子を保護者に知らせている。

4	3	2	1
44 (47) %	56 (49) %	0 (3) %	0 (0) %

2 学校は、子どもの学力を保障しようと努力している。

4	3	2	1
37 (38) %	53 (52) %	10 (10) %	0 (0) %

3 学校は、家庭と連携して友だち同士のかかわり方など、子どもの学校生活に関する問題に取り組んでいる。

4	3	2	1
23 (31) %	60 (48) %	17 (21) %	0 (0) %

4 学校は、事故防止や安全確保について十分対応し、決まりを守って学校生活を送るように指導している。

4	3	2	1
33 (54) %	58 (39) %	9 (7) %	0 (0) %

※ 主に家庭での様子

5 子どもは、自分から朝のあいさつをしている。

4	3	2	1
30 (39) %	61 (45) %	9 (12) %	0 (4) %

6 子どもは、集団生活に必要な決まりや約束を守ろうとしている。

4	3	2	1
42 (50) %	54 (45) %	4 (5) %	0 (0) %

7 子どもは、学校での様子をよく話している。

4	3	2	1
51 (49) %	46 (40) %	3 (10) %	0 (1) %

8 子どもは、学校を楽しんでいると感じ、行くのを楽しみにしている。

4	3	2	1
43 (53) %	51 (33) %	6 (13) %	0 (1) %

9 子どもは、家庭で自分から進んで学習している。

4	3	2	1
10 (11) %	39 (38) %	48 (46) %	3 (5) %

10 子どもは、家庭でよくそうじや片付けをしている。

4	3	2	1
9 (5) %	34 (35) %	45 (43) %	12 (17) %

<学校より>

コロナ感染については、行動制限等の緩和が定着してきましたが、インフルエンザが流行する時期を迎えています。学校では、子どもたちに、感染予防に気を付けさせた毎日を送るようにしています。そんな中でも、1学期に引き続き、学習や生活の中で「話し合うこと」「歌い合うこと」「いっしょに体を動かすこと」などの活動が可能になってきたことで、子どもたちの生活や学習の幅が広がってきています。今後もこのよさを生かして、学校生活がより豊かなものになるようにしていきたいと考えております。

さて、アンケート結果についてですが・・・

- アンケートの1～5の学校での教育活動につきましては、「項目1 学校は、通信等によって教育活動の様子を保護者に知らせている 2 学校は、子どもの学力を保障しようと努力している 4 学校は、事故防止や安全確保について十分対応し、決まりを守って学校生活を送るように指導している」については、90%以上の方々が、4（よくあてはまる）、3（ややあてはまる）とお答えいただいております。1学期と同様に高い評価をいただくことができました。「項目3 学校は、家庭と連携して友だち同士のかかわり方など、子どもの学校生活に関する問題に取り組んでいる」については、前回1学期には、4（よくあてはまる）、3（ややあてはまる）合わせて79%だったのに対し、今回は83%でした。わずかながら評価が上向いたものの、他の3項目に比べて低い傾向にあります。授業参観、家庭訪問、電話連絡等、保護者の皆様との関わり・連携を大切に、今後、さらに友達同士とのよりよい関わり方についてアンテナを張り、適切な指導が行えるよう努力してきたいと考えております。
- 「主に家庭での様子」につきましては、5～7の項目について、91%以上の回答となりました（前は84%以上）。特に7の項目「子どもは、学校での様子をよく話している。」については、前回より8ポイント上がって97%の回答があったことをうれしく思います。今後もお子様が、学校での生活や学習の様子をご家庭で話したくなるような充実した学校生活が送れますよう、お子様の指導・支援に努力してきたいと思っております。
- 8「子どもは、学校を楽しいと感じ、行くのを楽しみにしている」の項目については、前回大きく下がっていたのですが、今回94%に上向いています（前回86%）。子どもたちにとって、学校が楽しいと思えることが学習、生活を支える基盤になることを大切に、全ての子どもたちが「学校が好き」と言えるように、これからも引き続き、学校は努力をしていかなければいけないと考えております。
- 9「子どもは、家庭で自分から進んで学習している」の項目については、前回49%から今回も49%と低い傾向があります。子どもたちへのアンケートでは、今回も、スマホやゲームをする時間が長いという結果が出ており、家に帰って毎日2時間以上するお子様の割合が、全校の24%にもなっています。関連が気になるところです。お子様の目の健康、脳や心の面への影響が気になります。引き続き、お子様とスマホやゲームの時間を見直すことも含め、各ご家庭での時間の使い方や過ごし方の見直しをしていただきますようよろしくお願いいたします。学校でも、学習の習慣を身に付け、子どもたちが自ら学習に向かう意欲が高まるよう、家庭学習の大切さについて引き続き指導してまいります。（毎日の家庭学習時間は、学年の数×10+10分を目安に）
- 10「子どもは、家庭でよくそうじや片付けをしている。」の項目については、前回40%、今回43%といずれも低い傾向となっています。学校でも自分の身の回りのものを自分で整理できにくい傾向があるように感じます。学校では、身の回りの整理整頓や片付けをすることで、気持ちよく生活できたり学習に意欲が出てきたりすると指導しておりますが、ご家庭でもそうじや片付けへの取り組みをよろしくお願いいたします。

今学期を見直し、来学期に向け、各ご家庭と協力して子どもたちの指導に努力し、成長を見守っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。